

オホーツクアドベンチャー トラベルの課題と対応

オホーツク観光の未来 ～流氷観光の次なる新たな事柄の創造～

令和7年3月

アイティデザイン研究所



課題と対応策

ガイド育成

専門知識と語学力を持つガイド育成プログラム強化

インフラ整備

安全で快適な体験のための設備と安全対策実施

地域連携

自治体の枠を超えた相互連携の推進

多言語対応

案内表示や説明資料の多言語化促進

オホーツクの森



マーケティング戦略



ネットワーク構築

オホーツクATネットワークのグランドデザイン策定



顧客理解

CRMを応用し観光客の声に基づくコンテンツ創出



情報共有

グループウェアを活用した関係者間の連携強化



CRMとグループウェアの活用

CRM(顧客関係管理)

顧客情報を管理・分析し良好な関係構築

一人ひとりに適切なアプローチでLTV最大化

リアルタイム分析でベストなタイミングの提供

グループウェア

メール・スケジュール・掲示板等の情報共有ツール

業務情報・処理の一元管理で非効率解消

観光DX推進の基盤として機能

季節別アドベンチャープログラム

冬季プログラム

流水ウォーク、アイスダイビング、雪上アクティ
ビティ

秋季プログラム

紅葉ハイキング、収穫体験、食文化ツアー



春季プログラム

野鳥観察、山菜採り、湿原トレッキング

夏季プログラム

シーカヤック、森林セラピー、星空観察

インバウンド対応強化計画



言語バリアフリー化

多言語案内システム整備、通訳ガイド育成



デジタル環境整備

Wi-Fi整備、多言語対応アプリ開発



文化理解促進

異文化対応研修、宗教・食習慣対応

体験場所	海	雪・流水
	川・湖	空
	山・森	陸
体験目的	アクティビティ(スポーツやレクリエーションなど、主に身体を動かすことが目的のもの)	
	異文化体験(見る・ふれ合う・知る・出会うなど、主に心を動かすことが目的のもの)	

アクションプラン

第1フェーズ(準備期)

地域資源調査、ガイド育成着手、基本計画策定

第3フェーズ(展開期)

インバウンド向け本格展開、広域連携確立

第2フェーズ(試行期)

モデルコース開発、国内向けプロモーション開始

第4フェーズ(成熟期)

持続可能な運営体制確立、国際ブランド化